

令和6年度の取組みについて

1. 尼崎21世紀の森づくり協議会での主な協議事項

■「今後の森構想エリア内の環境学習のあり方」の検討について（案）

令和5年度は、森構想エリアにおいて企業・団体が実施する環境学習の特徴や、環境学習を更に展開していくための課題等を把握するための調査を実施した。その結果をふまえ、森構想エリアである尼崎南部地域を環境学習が集中する先進的な地域としてアピールしていくため、企業・団体への参画の呼びかけや、環境学習の受け手である学校関係者等へのニーズ調査を行うとともに、企業・団体間の連携促進や新たな取組への発展を目指した「企業版森の会議（仮称）」の実施などに取り組むとともに、これらの結果をふまえて「今後の森構想エリア内の環境学習のあり方」として取りまとめる。

①企業・団体へのPR

- ・企画資料を活用した企業・団体への環境学習の取組への参画の働きかけ
- ・尼崎21世紀の森SDGs賞応募者へのPR

②環境学習の受け手側のニーズ調査

- ・学校関係者へのヒアリング調査等の実施
- ・「企業版森の会議（仮称）」を活用した提供側と受け手側の意見交換

③第1回森づくり協議会（9月～10月ごろ予定）での報告・議論

- ・①②の実施状況等について報告し、今後の環境学習のあり方等について議論

④上記をふまえ、「今後の森構想エリア内の環境学習のあり方」のとりまとめ

- ・第2回森づくり協議会（2月ごろ予定）にて議論、検討を行う

2. 森構想の推進に向けた取組み（予定）

①企業版森の会議（仮称）（県民センター事業：新規）

森構想エリア内で環境学習に取り組む企業や市民団体等の様々な主体が、情報交換を行い連携を深める契機となる場を提供する。

②尼崎21世紀の森・環境学習フォーラム2024（県民センター事業：新規）

尼崎の森中央緑地や尼崎運河等で環境学習に取り組む学生に成果発表の場を設けることにより、森構想エリア内での環境学習の取組等を、エリア外に広く情報発信するフォーラムを開催する。

③尼崎運河魅力アップ事業（県民センター事業：新規）

大阪・関西万博F Pのプレミア・プログラムに選定された尼崎運河クルーズの拠点となる北堀チャネルベースを活用し、尼崎運河において賑わいを創出するイベントを開催する。

④尼崎21世紀の森構想国際展開事業（県民センター事業：新規）

多言語による森構想紹介動画や森づくり体験活動プログラムを作成し、万博開催に伴うインバウンド旅行者等に対し、森構想の理念を広く情報発信する。

⑤SDGsの取組（継続）

「尼崎21世紀の森SDGs賞」の贈呈及び「尼崎21世紀の森づくりSDGs推進ガイドブック」を活用し、森構想エリア内でのSDGs活動を支援する。

⑥尼崎21世紀の森構想エリアツアーの取組（継続）

令和5年度の実施結果をふまえ、引き続き森構想エリア内の施設利用の促進、平日利用の促進に向けたエリアツアーの実施や福祉系プログラムについて実施・検討する。